

[平成25年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

日本体育大学 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 日本体育大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部

職名・氏名 フチョウ カツダ シンヤ
部長 勝田 真也

電話番号 03-5706-0909

(夜間) 03-5706-0902

F A X 03-5706-0823

e-mail katsuda@nittai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1.	調査対象大学等の概要等	1
2.	授業科目の概要	6
3.	施設・設備の整備状況, 経費	12
4.	既設大学等の状況	14
5.	教員組織の状況	16
6.	留意事項に対する履行状況等	24
7.	その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 日本体育大学

(2) 大学名

日本体育大学

(3) 大学の位置

〒158-8508
東京都世田谷区深沢七丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツナミ ケンシロウ) 松浪 健四郎 (平成23年6月)		
学長	(タニガマ リョウショウ) 谷釜 了正 (平成22年9月)		
学部長	(クボ タケシ) 久保 健 (平成25年4月)		
学科長等	(オカモト ミワコ) 岡本 美和子 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 23 年度に報告済の内容 → (23)

平成 25 年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科	年	人	年次人	人	
児童スポーツ教育コース	4	150	—	600	
幼児教育保育コース	4	50	—	200	
学士(児童スポーツ教育学)					

(注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

児童スポーツ教育コース

区分	対象年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	150 (-) [-]		() () []		() () []		() () []		1.06倍	
	志願者数	362 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
	受験者数	340 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
	合格者数	176 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B	入学者数	160 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
	入学定員超過率 B/A	1.06									

幼児教育保育コース

区分	対象年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A	入学定員	50 (-) [-]		() () []		() () []		() () []		1.02倍	
	志願者数	56 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
	受験者数	55 (-) [-]	(-) (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		

合格者数	54 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []
B 入学者数	51 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []
入学定員超過率 B/A	1.02							

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

児童スポーツ教育コース

学 年	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 160	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	[]	[]	
計	[-] 160		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

幼児教育保育コース

学 年	対象年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 51	[-]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	[]	[]	
計	[-] 51		[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる

「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

2 授業科目の概要

<児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分1	科目区分2	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学部 共通科目	言語コミュニケーション科目	基礎英語Ⅰ	1前	1			±0					兼1-2	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)		
		基礎英語Ⅱ	1後	1			±0					兼1-2			
		英語コミュニケーションⅠ	2前	1			±0					兼1-2			
		英語コミュニケーションⅡ	2後	1			±0					兼1-2			
		小計(4科目)	—	4	0	0	±0					兼1-2	—		
	教養科目	現代社会と憲法	1前	2									兼1	教育指導体制充実のため担当者を追加(25) 担当(杉本和子 村井和夫)	
		情報機器の操作	1前	2									兼1-3		
		こころと行動の科学	1前	2									兼1		
		生命の科学	2前	2									兼1		
		変貌する社会と人間生活	2後	2				1							
		身体とスポーツの文化論	1前	2				1							
		文学と人間	2前	2									兼1		
		経済学から眺める社会	2後	2									兼1		
		小計(8科目)	—	0	16	0	2					兼6-8	—		
	総合科目	日体大の歴史(日体伝統実習を含む)	1前	2									兼1	集中	
野外活動実習		1前	1				1								
	小計(2科目)	—	3	0	0	1					兼1	—			
基幹科目	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			±3	±0					兼7	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)		
	基礎ゼミナールⅡ(アカデミックリテラシー)	1後	1			2	1		1						
	児童スポーツ教育演習	2通	2			±2	±2					兼2			
	児童スポーツ教育研究Ⅰ	3通	2			±14	±3			±2		兼14			
	児童スポーツ教育研究Ⅱ	4通	2			±14	±3			±2		兼14			
	小計(5科目)	—	8	0	0	±14	±3			±2	兼14	—			
学科 共通科目	基幹科目	学校教育論	2前	2			1			1		オムニバス	教職課程認定における委員会の指図により、科目を追加(25) 担当 森嶋昭伸(教授)、関孝(助教)		
		現代こども論	3後	2			1	1				兼1		オムニバス	
		教材・教具論	4前	2			4	1						オムニバス	
		児童スポーツ教育論	1前	2			±	±						オムニバス	
		児童健康教育論	1後	2										兼1	
		発育発達論	2前	2										兼1	
		児童の身体の仕組み	1前	2			±							オムニバス	
		児童スポーツ指導論	2前	2			±	±						オムニバス	
		児童の体つくりと動きつくり	3前	2			±	±						オムニバス	
		スポーツ生理学	1後	2				±						兼1	
		スポーツバイオメカニクス	3前	2				±						兼1	
		食育論	1前	2							1				
		小計(8科目)	—	16	0	0	4	3				兼3		教職課程認定における委員会の指図により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の科目目を本区分に移動(25)	
		小計(5科目)	—	10	0	0	6	2		2		兼2		「基幹科目」内の区分を再編成により削除(25)	
		児童スポーツ教育論	1前	2			1	1						オムニバス	教職課程認定における委員会の指図により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の科目目を本区分に移動(25)
		児童スポーツ指導論	2前	2			1	1						オムニバス	
		児童健康教育論	1後	2										兼1	
			小計(3科目)	—	6	0	0	2	1					兼1	—
児童の身体の仕組み	1前	2			1						兼1	教職課程認定における委員会の指図により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の科目目を本区分に移動(25)			
児童の体つくりと動きつくり	3前	2			2						兼1				
スポーツ生理学	1後	2									兼1				
スポーツバイオメカニクス	3前	2				1									
ライフステージ栄養学	2前	2							1						
	小計(5科目)	—	8	2	0	3	1		1		兼2	—			
食育論	1前	2							±			教職課程認定における委員会の指図により、区分2の科目区分である「基幹科目」内の区分を再編成したため当該区分内の科目目を本区分に移動(25)			
ライフステージ栄養学	2前	2							±						
	小計(2科目)	—	2	2	0				±			—			

科目区分1	科目区分2	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科 共通科目	スポーツ実技科目	体づくり運動(体操)	2前	1				±0				兼1	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
		ダンス	1後	1				±0				兼1		
		小計(2科目)	—	2	0	0		±0				兼2		
		器械運動	1後		1			±0				兼1		教育指導体制充実のため担当者追加(25) 担当(杉沼春美、遠藤大哉、森田美苗)
		陸上競技	1後		1			±0				兼1		
		水泳	1前		1							兼1-4		
		ボールゲーム	1前		1			±0		±0		兼2		
		柔道	3前		1			±0				兼1		
	エアロビックエクササイズ	3前		1					±0		兼1			
	レクリエーション	4前		1							兼1			
	小計(7科目)	—	0	7	0		4	0	±0		兼2 11			
	自由科目	アダプテッドスポーツ論	3後			2						兼1	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
		アダプテッドスポーツ実技	4前			1						兼1		
		スポーツ現場実務論	3後			2			±0		±0	兼3		
スポーツ現場実習		4前・後			1			±0		±0	兼3			
小計(4科目)	—	0	0	6				±0		±0	兼1-4			
児童スポーツ教育コース 専門科目	基礎科目	スポーツの歴史と本質	1後		2							兼1	教職課程認定における委員会の指図により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)	
		児童スポーツトレーニング学	2前		2			±				兼1		
		発達障害と特別支援教育	2前		2				±			兼1		
		児童スポーツコーチング学	2前		2				±			兼1		
		スポーツ社会学	2後		2						±			
		スポーツ心理学	2後		2			±						
		スポーツ経営管理学	4後		2							兼1		
		身体と運動の測定評価学	3前		2							兼1		
		スポーツ栄養学	4後		2						±			
		衛生学・公衆衛生学	3前		2							兼1		
		児童医学	4前		2							兼1		
	小計(11科目)	—	0	22	0		±	4		±	兼4			
	展開科目	学校保健(小児保健・精神保健を含む)	3前		2							兼1	教職課程認定における委員会の指図により、区分1の科目区分である「コース専門科目」内の区分2の構成を再編成したため「コース専門科目」内の序列を変更(25)	
		ヘルズプロモーション	3前		2							兼1		
生涯スポーツ論		4後		2						±				
野外活動論		4前		2							兼1			
トレーニング実践演習		4後		1				±						
救急処置実習(テーピングを含む)		4後		1							兼1			
小計(6科目)	—	0	10	0				±		±	兼4			
教育の基礎	教育原理	1前		2			±0			1		教職課程認定における委員会の指図により、担当者変更(25) 担当 関 東(助教)		
	保育原理	1前		2					1					
	教育の方法と技術(メディア教育を含む)	2後		2			2							
	教育の制度と経営	3後		2						1				
	教師論	1前		2			1							
	発達心理学	3後		2							兼1			
	人権教育	4前		2			1							
	小計(7科目)	—	0	14	0		3	1		1	兼1			
	特別活動の指導法	1後		2			1						教職課程認定における委員会の指図により、担当者変更(25) 担当(藤原文雄)	
	教育心理学	1後		2							兼1			
	教育課程論	2前		2			±0				兼1			
道徳教育指導論	2後		2			1			±0					
教育相談(カウンセリングを含む)	3前		2					±0		兼1				
幼児理解	4前		2			1		1		兼1				
生徒指導論(進路指導を含む)	3前		2			1								
小計(7科目)	—	0	14	0		2	±1		±0	兼2 3				
教育の教科の内容及び指導法	初等体育A(個人スポーツ)	2通		2				±0			兼3	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)		
	初等体育B(対人・集団スポーツ)	2通		2			±0		±0	兼2				
	初等体育C(子どもの運動遊び)	2通		2			±1	±0	±0	兼2				
	小計(3科目)	—	0	6	0		±1	±0	±0	兼7				
	初等国語(書写を含む)	2後		2			1				兼1	教職課程認定における委員会の指図により、オムニバス開講に変更・担当者追加(25) 担当(荒井一浩)		
	初等算数	1前		2			1				兼4			
	初等音楽	1通		2			1				兼1			
	初等図画工作	3通		2							兼1			
	小計(4科目)	—	0	8	0		3				兼5 6			
	初等理科	1後		2			1					オムニバス		
初等社会	1後		2			1								
初等家庭科	2前		2							兼1				
初等生活	3前		2			2								
小計(4科目)	—	0	8	0		2				兼1				

科目区分1	科目区分2	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
幼児教育保育コース 実践 専門科目	教育及び保育の内容と方法に関する実践	保育内容総論演習	3後	1			1					兼1 オムニバス 兼1 オムニバス 兼1	教職課程認定における委員会の指図により、オムニバス開講に変更・担当者の変更(25) 担当 齋藤崇(准教授)・(宇田川久美子) 教職課程認定における委員会の指図により、担当者の追加・オムニバス開講に変更(25) 担当(齋藤正典)
		保育内容演習(健康)	3前	1			1						
		保育内容演習(人間関係)	3前	1			±0	1					
		保育内容演習(環境)	3後	1			1						
		保育内容演習(言葉)	3後	1			1						
	保育内容演習(表現)	3前	1			1							
	小計(6科目)			0	6	0	±2	1				兼1-3	
	乳児保育	3通	2				1					兼1 兼1 兼1 兼1-3	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
	障がい児保育演習	4通	2				±0						
	社会的養護内容	4前	1				±0						
	保育相談支援	3前	1				±0						
	小計(4科目)			0	6	0	±1	±0					
	保育実習	保育実習Ⅰ①	3後	2				±0				兼1 集中 兼1 集中 兼1-2 オムニバス 兼2 兼1 集中 兼1 集中 兼2	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
		保育実習Ⅰ②	3後	2				±0					
		保育実習指導Ⅰ	3通	2				±0	±0				
		小計(3科目)			0	6	0	±0	±0				
		保育実習Ⅱ	4後	2				±0					
保育実習Ⅲ		4後	2					±0					
小計(2科目)				0	4	0	±0	±0					
総合演習	保育実習指導Ⅱ	4後	1				±0				兼1 集中 兼1 集中 兼2	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
	保育実習指導Ⅲ	4後	1					±0					
	小計(2科目)			0	2	0	±0	±0					
保育・教職実践演習(幼稚園)	4後	2				±2	1				兼1 オムニバス	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
小計(1科目)			0	2	0	±2	1				兼1		
幼児教育保育コース 自由	教育実習	教育実習指導Ⅰ	3前		1			1				集中 集中	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
		教育実習Ⅰ(幼稚園)	3後		1			1					
		教育実習指導Ⅱ	4前		1			1					
		教育実習Ⅱ(幼稚園)	4前		3			1					
	小計(4科目)			0	0	6	1	1					
在宅保育論	4前			2		±2	±0				兼2 オムニバス	短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
小計(1科目)			0	0	±2	±0					兼2	自由科目小計は届出時の小計表記の範囲(25)	
合計(174/177科目)				±41	235	±36	±14	±3		±2	兼±59	自由科目小計は届出時の小計表記の範囲(25)により、調整算分を限った。(25)	

学士又は称号 学士(児童スポーツ教育学) 学位又は学科の分野 体育関係、教育学・保育学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等
<p><学部共通>の【言語コミュニケーション科目】から必修科目4単位、【教養科目】から選択科目10単位以上、【総合科目】から必修科目3単位、【基幹科目】から必修科目8単位、小計25単位以上修得し、<学科共通>の【基幹科目】の一つめの区分から必修科目±10単位、二つめの区分から6単位、三つめ 三つめの区分から±8単位以上(必修4科目目分を含む)、【スポーツ実技科目】の一つめの区分から必修科目2単位、二つめの区分から選択科目3単位以上、小計±29単位以上修得し、学部共通科目及び学科共通科目あわせて±54単位を修得する(1)ほか、次の2つのコースのいずれかから84単位以上を修得し、学部共通及び学科共通と合わせて±82 138単位以上修得すること。</p> <p><児童スポーツ教育コース>の【教育の基礎】の一つめの区分から10単位以上(必修5科目分を含む。)、二つめの区分から12単位以上(必修6科目分を含む。)、【教育の教科の内容及び指導法】の一つめの区分から4単位以上、二つめの区分から6単位以上、三つめの区分から4単位以上、四つめの区分から9科目18単位、五つめの区分から2単位以上、【基幹科目】【児童スポーツ教育科目】の一つめの区分から必修科目22単位、【展開科目】二つめの区分から6単位以上、【教育の基礎】の一つめの区分から10単位以上(必修4科目分を含む。)、二つめの区分から12単位以上(必修6科目分を含む。)、【教育の教科の内容及び指導法】の一つめの区分から4単位以上、三つめの区分から6単位以上、三つめの区分から4単位以上、四つめの区分から9科目18単位、五つめの区分から2単位、合わせて84単位以上を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:40単位(年間))</p> <p><幼児教育保育コース>の【基幹科目】から8科目15単位、【展開科目】の一つめの区分から4単位以上(必修科目1科目分を含む。)、二つめの区分から6科目12単位、三つめの区分から4単位以上(必修科目1科目分を含む。)、【教育の基礎】から10単位以上(必修科目4科目分を含む。)、【教育の教科の内容】から6単位以上、【教育及び保育の内容と方法に関する基礎】から6科目10単位、【教育及び保育の内容と方法に関する実践】の一つめの区分から6科目6単位、二つめの区分から4科目6単位、【保育実習】の一つめの区分から3科目6単位、二つめの区分から2単位以上、三つめの区分から1単位以上、【総合演習】の1科目2単位、合わせて84単位を修得すること。(履修単位の年間登録の上限:40単位(年間))</p>	<p>1学年の学期区分 2学期</p> <p>1学期の授業時間 15週</p> <p>1時限の授業時間 90分</p>

備考について

この表中の備考欄の記述における「短大」とは、同一法人が設置する「日本体育学部女子短期大学部(平成25年度募集停止)」を表す。同記述のとおり、児童スポーツ教育学部開設年度に併せて、日本体育大学女子短期大学部(各科)専任教員から児童スポーツ教育学部専任教員として発令する予定を変更し、同短期大学部に学生が在学する間、その教育の質と教育体制を十分に確保するため、引き続き日本体育大学女子短期大学部の専任教員として勤務し、児童スポーツ教育学部における担当授業科目は非常勤講師(兼任教員)として担当させることとした。よって、「専任教員等の配置」の欄における人数記載について、専任教員としての人数から兼任教員への人数に振り替えることとなった。

- (注) ・ 認申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 22	科目 131	科目 21	科目 174	科目 25 [3]	科目 131 [0]	科目 21 [0]	科目 177 [0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止したことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

<u>0</u>	<small>未開講科目と廃止科目の計</small>	=	0.00
174	<small>設置時の計画の授業科目数の計</small>		

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 平成25年2月、菅平実習場の一部を長野県上田市に道路用地として拠出したため416㎡の減(25)			
	校舎敷地	126,951.32㎡	㎡	㎡	126,951.32㎡				
	運動場用地	80,088.44㎡	㎡	㎡	80,088.44㎡				
	小 計	207,039.76㎡	㎡	㎡	207,039.76㎡				
	そ の 他	59,759.14㎡ 60,175.14㎡	㎡	㎡	59,759.14㎡ 60,175.14㎡				
	合 計	266,798.90㎡ 267,214.90㎡	㎡	㎡	266,798.90㎡ 267,214.90㎡				
(2) 校 舎	専 用	58,243.79㎡ 58,274.90㎡ (58,243.79㎡) (58,274.90㎡)	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 用途変更のため31.11㎡の減(25)			
			(㎡)	(㎡)	58,243.79㎡ 58,274.90㎡ (58,243.79㎡) (58,274.90㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	43室	42室	36室	3室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		32 室			
	児童スポーツ教育学部								
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分 図書 405,840[89,240] (380,460[86,360]) (372,000[85,400]) 学術雑誌 5,833 [1,165] (5,833 [1,165]) 電子ジャーナル 110 [110] (110 [110]) 視聴覚資料 54,100 (52,600) (52,400)		
		[うち外国書]	[うち外国書]					電 子 ジ ャ ー ナ ル	点
	冊	種	[うち外国書]						
	児童スポーツ教育学部	37,160 [2,760] (35,950 [2,600]) (35,000 [2,600])	683 [135] (683 [135])	21 [21] (21 [21])	900 (900)	889 (840 (789))		5 (5)	
計	37,160 [2,760] (35,950 [2,600]) (35,000 [2,600])	683 [135] (683 [135])	21 [21] (21 [21])	900 (900)	889 (840 (789))	5 (5)	開設年度分について見直し等により修正した(25)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,856㎡		570		557,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 弓道場面積再計算による48.7㎡修正増(25)		
	42,642.67㎡ 42,593.97㎡		屋外温水プール、アーチェリー場、ゴルフ練習場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル、データベースの設備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	750千円	750千円	図書購入費	22,500千円	18,000千円	18,000千円	
		共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	70,000千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,410千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本体育大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
体育学部									
体育学科	4	620	—	2,480	学士 (体育学)	1.30	昭和24年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
健康学科	4	160	—	640	学士 (体育学)	1.23	昭和37年度		
武道学科	4	120	—	480	学士 (体育学)	1.15	昭和40年度		
社会体育学科	4	160	—	640	学士 (体育学)	1.23	昭和50年度		
専攻科	1	20	—	20	—	0.10	昭和46年度		
児童スポーツ教育学部									
児童スポーツ教育学科									
児童スポーツ教育コース	4	150	—	600	学士 (児童スポーツ教育学)	1.06	平成25年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
幼児教育保育コース	4	50	—	200	学士 (児童スポーツ教育学)	1.02	平成25年度		
大学の名称	日本体育大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
体育科	2	—	—	—	短期大学士 (体育学)		昭和28年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	※平成25年4月より学生募集停止(専攻科保育専攻は平成27年4月より学生募集停止)
幼児教育保育科	2	—	—	—	短期大学士 (幼児教育学)		昭和38年度		
専攻科保育専攻	1	50	—	50	—	0.68	平成18年度		
大学の名称	日本体育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
体育科学研究科									
体育科学専攻 (博士前期課程)	2	25	—	50	修士 (体育科学)	1.66	昭和50年度	東京都世田谷区深沢七丁目1番1号	
体育科学専攻 (博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (体育科学)	1.16	平成9年度		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してくだ

さい。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	高橋 健夫	平成25年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論※ 初等体育科教育法※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	西條 修光	平成26年4月	ｽﾎﾟｰﾂ心理学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	坂井 元	平成25年4月	基礎ゼミナールⅠ	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
				子どもと人間関係	専 准教授	齊藤 崇	平成25年4月	保育内容(人間関係)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(平成26年4月)(25)	
					兼任 講師	宇田川 久美子	平成26年4月			
				教育・保育課程論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 保育実習指導Ⅰ※ 社会的養護	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
				保育内容演習(人間関係)	専 准教授	齊藤 崇	平成25年4月	保育内容演習(人間関係)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(平成26年4月)(25)	
					兼任 講師	宇田川 久美子	平成26年4月			
				保育実習Ⅰ① 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ	兼任				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
人間関係指導法	兼任				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)					
家庭支援論 社会的養護内容 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 在宅保育論※ 保育・教職実践演習(幼稚園)※	兼任				短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)					
専	教授	岩佐 克彦	平成25年4月	基礎ゼミナールⅠ 変貌する社会と人間生活 教育の方法と技術(中・小・高教育を含む)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	阿部 茂明	平成27年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童の体づくりと動きづくり※ 教育実習指導Ⅰ※ 教育実習Ⅰ(小学校) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ						
専	教授	森 徹	平成25年4月	教育原理	専 助教	関 芽	平成25年4月	教育原理	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)	
				教師論 特別活動の指導法 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 教育実習Ⅱ(小学校) 人権教育 教育実習指導Ⅱ※						
				教職実践演習(小学校)※					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)

専	教授	森嶋 昭伸	平成26年4月	教育課程論	兼任	講師	藤原 文雄	平成26年4月	教育課程論	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更 (25)	
				児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 生徒指導論(進路指導を含む)							
				児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II 教育実習 II (小学校) 教育実習指導 II ※							
				教職実践演習(小学校)※					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
								学校教育論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(オムバス) (25)		
専	教授	角屋 重樹	平成25年4月	初等理科 初等理科教育法 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 初等生活※ 初等生活科教育法※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II							
				理科教育実践演習					理科教育実践論	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(オムバス) (25)	
専	教授	細川 節子	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ビ´ﾌﾞ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II							
専	教授	村本 和世	平成25年4月	基礎ﾍﾞﾐﾅｰﾙ I 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育演習※ 初等体育B(対人・集団ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ)※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定) (25)	
専	教授 (学部長)	久保 健	平成25年4月	野外活動実習 身体とｽﾎｰﾙ-ﾌﾞの文化論 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ指導論※ 初等体育科教育法※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 児童の体づくりと動きづくり※ 教育実習指導 I ※ 教育実習 I (小学校) 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II 教育実習 II (小学校)							
				体育科教育実践演習※					体育科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
				教育実習指導 II ※							
				教職実践演習(小学校)※					教職実践演習(幼稚園・小学校)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
専	教授	島田 功	平成25年4月	初等算数 基礎ﾍﾞﾐﾅｰﾙ II (ﾌｻﾞﾌﾞ ﾓﾝｸﾞﾘﾌﾗﾝｼｰ)※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 初等算数科教育法 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II 算数科教育実践演習							
									算数科教育実践論	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
									教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(オムバス) (25)	
専	教授	時本 久美子	平成25年4月	幼児体育 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育演習※							
				子どもと健康					保育内容(健康)	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
				子どもの運動遊び							
				子どもと環境					保育内容(環境)	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
				児童文化※ 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 I 保育内容演習(健康) 保育内容演習(環境) 児童ｽﾎｰﾙ-ﾌﾞ教育研究 II							
				健康指導法					保育内容(健康)指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
				在宅保育論※							
				環境指導法					保育内容(環境)指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更 (25)	
				保育・教職実践演習(幼稚園)※							

専	教授	Susan. L. Miller	平成25年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学の間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
専	教授	奥泉(岩本) 香	平成25年4月	基礎ゼミナールⅡ(7科目ミックス)※ 教育の方法と技術(1科目)※	兼任 講師	荒井 一浩	平成26年4月	初等国語(書写を含む)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(おん)ス(25)		
				子どもと言葉	兼任 講師	齋藤 正典	平成26年4月	保育内容(言葉)※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(おん)ス(25)		
				児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ							
				初等国語科教育法	兼任 講師	荒井 一浩	平成26年4月	初等国語科教育法※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(おん)ス(25)		
				保育内容演習(言葉)	兼任 講師	齋藤 正典	平成26年4月	保育内容演習(言葉)※	教職課程認定における委員会の指摘により担当者追加(おん)ス(25)		
				児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ							
				教育実習Ⅱ(幼稚園)							
				国語科教育実践演習	兼任 講師	荒井 一浩	平成26年4月	国語科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(おん)ス(25)		
				教育実習指導Ⅱ※							
言葉指導法	兼任 講師	齋藤 正典	平成26年4月	保育内容(言葉)指導法※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者追加(おん)ス(25)						
保育・教職実践演習(幼稚園)※											
								教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おん)ス(25)		
専	教授	岡本 美和子	平成25年4月	児童の身体の仕組み※ 子どもの保健ⅠA 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育演習※ 子どもの保健ⅠB 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ 乳児保育 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ 生活※ 在宅保育論※ 子どもの保健Ⅱ						現代こども論※ 教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おん)ス(25)	
専	教授	二井一正浩	平成25年4月	初等社会	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	初等社会	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				初等生活※	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	初等生活※	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				初等社会科教育法	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	初等社会科教育法	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				初等生活科教育法※	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	初等生活科教育法※	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更(25)		
				社会科教育実践演習	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	社会科教育実践論	平成24年7月教授就任辞退のため、平成24年9月担当者変更、教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)		
	専 教授	猪瀬 武則	平成25年4月	教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おん)ス(25)						
専	准教授	本多 洋実	平成25年4月	基礎ゼミナールⅠ 子ども家庭福祉 社会福祉学 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ 保育実習指導Ⅰ※ 相談援助 保育相談支援 保育実習Ⅰ② 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ 在宅保育論※ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	兼任				短大は廃止予定であり、学生が在学の間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)		
専	准教授	笠井 里津子	平成25年4月	ダンス 初等体育A(個人ｽﾍﾞｰﾙ)※ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ	兼任 教授				短大は廃止予定であり、学生が在学の間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25)		
専	准教授	古川 暁也	平成25年4月	ボールゲーム※ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅰ 児童ｽﾍﾞｰﾙ教育研究Ⅱ	兼任 教授				短大は廃止予定であり、学生が在学の間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25)		

専	准教授	別府 健至	平成25年4月	陸上競技 児童ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ学※ 初等体育A(個人ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II	兼任						短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
専	准教授	宇部(金子) 弘子	平成25年4月	基礎ゼミナール I	兼任						短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
				発達障害と特別支援教育※	兼任	准教授	齋藤 雅英	平成27年4月	発達障害と特別支援教育	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(単独担当)(25)	
				教育相談(カウンセリングを含む)※	兼任	准教授	齋藤 雅英	平成27年4月	教育相談(カウンセリングを含む)	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(単独担当)(25)	
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
								現代こども論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おんぱス)(25)		
専	准教授	伊藤 雅充	平成25年4月	基礎ゼミナールII(フロンティア)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂｺｰﾁﾝｸﾞ学※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ ｽﾎﾟｰﾂﾊﾞｲｵﾐｶﾆｸｽ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I トレーニング実践演習 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II							
専	准教授	近藤 智靖	平成25年4月	児童ｽﾎﾟｰﾂ教育論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ指導論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I							
				体育科教育実践演習※					体育科教育実践論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更(25)	
				児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II					教材・教具論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おんぱス)(25)	
専	准教授	齊藤 崇	平成25年4月	保育原理 保育内容総論[児スポ] 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 教育・保育課程論※ 保育者論 児童文化※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 幼児理解とカウンセリング 教育実習指導 I 教育実習 I(幼稚園) 保育内容総論[幼保] 保育内容総論演習 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II 幼児理解 保育・教職実践演習(幼稚園)※							
								現代こども論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おんぱス)(25)		
専	准教授	田邊 勝	平成25年4月	基礎ゼミナール I 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 柔道 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
専	准教授	畠田 好章	平成25年4月	器械運動 初等体育A(個人ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II	兼任					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)	
専	准教授	須永 美歌子	平成25年4月	ｽﾎﾟｰﾂ生理学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育演習※ 児童ｽﾎﾟｰﾂトレーニング学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童の体づくりと動きづくり※ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	兼任						短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
専	准教授	伊藤 由美子	平成25年4月	基礎ゼミナール I 体づくり運動(体操) 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 I 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究 II	兼任						短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)

専	助教	亀山 有希	平成25年4月	基礎ゼミナールⅠ 初等体育C(子どもの運動遊び)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ エフピｯｸｱｸﾀｲｽﾞ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ ｽﾎﾟｰﾂ社会学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ 生涯ｽﾎﾟｰﾂ論 ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	兼任	准教授					短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)、平成25年4月昇任のため(25)
専	助教	安達 瑞保	平成25年4月	食育論 ライフステージ栄養学 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ ｽﾎﾟｰﾂ栄養学							
専	助教	木下 佳子	平成25年4月	ホｰﾙゲーム※ 初等体育B(対人・集団ｽﾎﾟｰﾂ)※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ ｽﾎﾟｰﾂ現場実務論※ 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ ｽﾎﾟｰﾂ現場実習	兼任						短大は廃止予定であり、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保(平成26年4月専任教員発令予定)(25)
専	助教	関 芽	平成25年4月	基礎ゼミナールⅡ(7カテゴリー研修)※ 道徳教育指導論 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅰ 教育実習指導Ⅰ※ 教育実習Ⅰ(小学校) 教育の制度と経営 児童ｽﾎﾟｰﾂ教育研究Ⅱ		専	教授	森 徹	平成25年4月	道徳教育指導論	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
										学校教育論※	教職課程認定における委員会の指摘により科目追加(おんﾊﾞｽ)(25)
兼任	教授	黒田 稔	平成25年4月	こころと行動の科学							
兼任	教授	富田 幸博	平成28年4月	ｽﾎﾟｰﾂ経営管理学							
兼任	教授	藤田 圭一	平成25年4月	教育心理学 発達心理学							
兼任	教授	田中 信行	平成27年4月	ｱｸﾂﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ論 ｱｸﾂﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ実技							
兼任	教授	刑部 久	平成26年4月	文学と人間							
兼任	准教授	馬場 進一郎	平成28年4月	レクリエーション							
兼任	准教授	林 忠男	平成25年4月	情報機器の操作							
兼任	准教授	堀尾 哲也	平成26年4月	生命の科学							
兼任	准教授	河野 徳良	平成28年4月	教職実習(予備)を含む							
兼任	准教授	小泉 和史	平成28年4月	野外活動論							
兼任	准教授	齋藤 雅英	平成27年4月	発達障害と特別支援教育※ 保育の心理学Ⅰ 教育相談(カウンセリングを含む)※ 保育の心理学Ⅱ							
兼任	准教授	石上 秀昭	平成26年4月	経済学から眺める社会							
兼任	准教授	大本 洋嗣	平成25年4月	水泳							
兼任	准教授	鈴川 一宏	平成27年4月	衛生学・公衆衛生学		教授					平成25年4月昇任のため(25)
兼任	准教授	津山 薫	平成26年4月	発達発達論							
兼任	准教授	荻 浩三	平成25年4月	日体大の歴史(日体伝統実習を含む) ｽﾎﾟｰﾂの歴史と本質		教授					平成25年4月昇任のため(25)

兼任	准教授	野井 真吾	平成25年4月	児童健康教育論 学校保健(小児保健・精神保健を含む)	教授				平成25年4月昇任のため(25)	
兼任	准教授	山口 和之	平成25年4月	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ	教授				平成25年4月昇任のため(25)	
兼任	准教授	小林 正利	平成25年4月	児童の身体の仕組み※ ヘルプ・ロモーション						
兼任	講師	川原 民	平成26年4月	子どもと表現	兼任	講師	杉本(松原) 亜鈴	平成28年4月	保育内容(表現)	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(25)
				保育内容演習(表現)	兼任	講師	杉本(松原) 亜鈴	平成28年4月	保育内容演習(表現)	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				表現指導法	兼任	講師	杉本(松原) 亜鈴	平成28年4月	保育内容(表現)指導法	教職課程認定における委員会の指摘により科目名変更、担当者変更(25)
				生活※				平成28年4月		担当科目削減により就任年月変更(25)
兼任	講師	栗崎 京子	平成27年4月	子どもの食と栄養						
兼任	講師	櫻井 忠義	平成28年4月	児童医学						
兼任	講師	平本 和博	平成27年4月	初等図画工作科教育法	兼任	講師	伊東 信治	平成27年4月	初等図画工作科教育法	教職課程認定における委員会の指摘により担当者変更(25)
				初等図画工作						
兼任	講師	比嘉 真人	平成26年4月	障がい児保育 障がい児保育演習						
兼任	講師	町田 洋子	平成25年4月	初等音楽 器楽演習						
兼任	講師	鈴木 恵津子	平成26年4月	初等音楽科教育法 リズム						
兼任	講師	太田 あや子	平成27年4月	身体と運動の測定評価学						
兼任	講師	筒井 恭子	平成26年4月	初等家庭科 初等家庭科教育法						
兼任	講師	山地 みどり	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ビ・7/						
兼任	講師	山崎 英壽	平成25年4月	現代社会と憲法						
兼任	講師	高坂 久美子	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ビ・7/						
兼任	講師	成田 真	平成25年4月	初等音楽 器楽演習 ビ・7/						
兼任	講師	岡光 基子	平成28年4月	病児・病後児保育						
					兼任	講師	杉本 和子	平成25年4月	情報機器の操作	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	村井 和夫	平成25年4月	情報機器の操作	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	杉沼 春美	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	遠藤 大哉	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)
					兼任	講師	森田 美雪	平成25年4月	水泳	平成25年4月教育指導体制の充実を図るため担当者の追加(25)

備考について

この表中の備考欄の記述における「短大」とは、同一法人が設置する「日本体育大学女子短期大学部(平成25年度募集停止)」を表す。同記述のとおり、児童スポーツ教育学部開設年度に併せて、日本体育大学女子短期大学部(各科)専任教員から児童スポーツ教育学部専任教員として発令する予定を変更し、同短期大学部に学生が在学する間、その教育の質と教育体制を十分に確保するため、引き続き日本体育大学女子短期大学部の専任教員として勤務し、児童スポーツ教育学部における担当授業科目は非常勤講師(兼任教員)として担当させることとした。よって、「専任教員等の配置」の欄における人数記載について、専任教員としての人数から兼任教員への人数に振り替えることとなった。

(注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
17	12	0	4	33	14	3	0	2	19	65~70 歳	1 名
(11)	(3)	(0)	(2)	(16)	[Δ3]	[Δ9]	[0]	[Δ2]	[Δ14]		

教員の定年年齢について

教員の定年年齢については70歳定年制であったが、平成21年度から65歳定年制を導入した。
 これにより、経過措置として、定年年齢65歳への引下げに当たっては、平成29年度までの間に段階的に移行実施することとしている。
 なお、これにかかわらず、平成11年4月1日以降に採用した教員で、平成21年4月1日現在55歳以上の者は、70歳定年制が適用される。

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、
 「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	二井 正浩	

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設前のため該当なし。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①教員の就任年月日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年4月1日 教授14名、准教授12名、助教4名 <p>②修得単位数及び卒業要件単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科共通科目 23単位 ・卒業要件単位数 132単位 <p>③校舎面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・58,274.90㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年4月1日 教授11名、准教授3名、助教2名 <p>短大は廃止予定であり、教授3名、准教授9名、助教2名について、学生が在学する間、短大所属専任教員としたため、当学部専任教員としての発令を留保（平成26年4月専任教員発令予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科共通科目 29単位 ・卒業要件単位数 138単位 <p>教職課程認定における委員会の指摘により、必修科目を3科目追加したことに伴い、修得単位数及び卒業要件単位数を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・58,243.79㎡ <p>用途変更のため31.11㎡の減。 (別添「建築等設置計画変更書」のとおり)</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大学設置基準第25条第3項に「教育内容等の改善のための組織的な研修等」と定められ義務化されたFD活動は、本学では平成18年4月1日より、副学長、学科長及び学長が必要と認めた者並びに関係部署職員により委員が組織され全学委員会として活動を展開している。委員長は教学学生担当の副学長がFD委員長を務めており、教学のリーダーシップを発揮している。</p> <p>FD委員会規程（平成18年3月7日教授会制定）</p> <p>第1条 委員会規程第2条に基づき、FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。</p> <p>第2条 委員会は、教育理念及び教育目標に基づき、教育活動、教授法及び教員の相互研鑽の支援並びに教育効果などに関して恒常的に検討を行い、教員の資質の向上を図ることを目的とする。</p> <p>第3条 委員会は、次の事項について審議し、実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) FDに関する企画及び調査に関する事項 (2) FDに関する報告書等の作成に関する事項 (3) その他FDに関する活動を促進するための事項 <p>2 委員会は、前項の事項を審議・実施するにあたり、他の本学委員会に委嘱することができるものとする。</p> <p>第4条 委員会は、次の号に掲げる者をもって組織し、学長が委嘱する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 副学長 (2) 体育学部各学科 1名 (3) 児童スポーツ教育学科各コース 1名 (4) 企画部長 (5) 企画部課程・評価課長 (6) その他学長が必要と認めた者 若干名 <p>第5条 必要に応じ委員会に、重要事項を審議するため専門委員会を置くことができる。</p> <p>第6条 委員会の庶務は、企画部課程・評価課が処理する。</p> <p>第7条 この規程の改廃は、教授会の意見を聴いて、学部長会が行う。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成18年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成24年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成25年4月1日から施行する。</p>
--

- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 平成24年 4月 5日(木) 16時30分から
 - 平成24年 5月21日(月) 16時30分から
 - 平成24年11月 7日(水) 13時00分から
 - 平成24年11月28日(水) 11時00分から
- c 委員会の審議事項等
 - F D委員会主催による第1回シンポジウムについて
 - 公開型授業イノベーション支援プログラムについて
 - F D目安箱の立ち上げについて
 - 学生F D会議の立ち上げについて
 - 学生による授業評価アンケートについて
 - 第2回シンポジウムについて
 - 前学期授業評価アンケートについて
 - 日体大OBが日体大のF Dに期待すること
 - 学外F D経験者が日体大F D活動に期待すること
 - 後学期授業評価アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

平成24年度は、F D委員会主催のシンポジウムを2回、授業評価アンケートを2回実施した。

シンポジウム
 授業評価アンケート（前学期・後学期）
 公募型授業イノベーション支援プログラム

b 実施方法

第1回シンポジウムは、本学のシステム(n-pass)を利用した授業環境改善及び公募型授業イノベーション支援プログラムに関して、第2回シンポジウムは、2部制とし、第1部は本学OB4～5人から本学F Dに期待することについて公開討論を行った。第2部は学外(本学就職前)におけるF D活動を経験した教員2名に、今後の本学F D活動に期待することを中心に講演を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回シンポジウム 平成24年4月11日（水） 教員37名
 学長によるF Dへの期待
 委員長よりF D委員会の方向性および取組みに関する説明
 n-pass(NSSU Passport)を積極的に利用した授業改善の事例説明
 公募型授業イノベーション支援プログラムの立ち上げに伴う説明

第2回シンポジウム 平成24年12月5日（水） 教員19名
 前学期授業評価アンケートの結果
 日体大OBが日体大のF Dに期待すること
 学外F D経験者が日体大F D活動に期待すること

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

2回のシンポジウム及び公募型イノベーション支援プログラムの取組状況を踏まえ、当該授業等における取組みを紹介し、授業改善への啓発を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期中に1回、後学期中に1回、あわせて2回の授業評価アンケートを行った。実施時期は次のとおり

- ①平成24年度 前学期 平成24年6月20日(水)から平成24年7月31日(火)
- ②平成24年度 後学期 平成24年12月3日(月)から平成25年2月1日(金)

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学の教学支援システム(Webサービス)NSSU PASSPORT<通称n-pass(エヌ・パス)>の専用メニューを使用し実施した。

各教科の各授業担当教員とそれらを履修する個々の学生が結びついており、アンケートへの回答は匿名化され、各設問に対する回答を自動集計した上でグラフ化(視覚化)されたものが、それぞれの授業ごとに、当該授業担当教員及び当該履修学生に還元される。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>児童スポーツ教育学部は、児童期における心身の発達特性に応じた体づくり、運動遊び・スポーツ、体育及び健康等の指導や支援に関する専門的な知識と技術を備えた指導者を養成することを目的として、平成25年度に開設した。 開設年度の入学試験状況は、本学部志願者総数418名（倍率2.1倍：定員200名（児童スポーツ教育コース150名、幼児教育保育コース50名））、入学者数211名（定員倍率1.055倍（児童スポーツ教育コース1.06倍、幼児教育保育コース1.02倍））である。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年6月1日 公表・平成27年度公表予定（直近の認証評価受審後） <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開予定（http://www.nittai.ac.jp/）
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成20年度に財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている』との判定を受けた。（平成20（2008）年4月1日から平成27（2015）年3月31日（7年間））・平成27年度（2015）に認証機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成25年6月中)</p>
